

キャラクター名
安見 ヒカリ

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス		ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	小学生
	モルフェウス					
オプション			年齢	9	性別	女の子
覚醒	感染	衝動	嫌悪	初期侵食率	48%	
出自	疎まれた子	経験	心の壁	邂逅	殺意	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	2	0	0			2	行動値	24
感覚	3	1	0	7		11	(非装備時)	24
精神	2	0	0			2	戦闘移動	29
社会	1	0	0			1	全力移動	58

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	20		RC	1		交渉		
回避	1		知覚	6		意志	2	1	調達	15	
運転:自転車	2		芸術:絵画	2		知識:レネゲイド	2		情報:UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ポルトアクションライフル	射撃	11r+20		8		至近不可 マイナー消費で命中達成値+5
カスタム・シュート	射撃	14r+16		武器+10		C値8
①+②+⑧+⑫		0				コスト10
バイオレット・シュート	射撃	15r+17		武器+24		装甲値無視 C値7 付随効果は武器によりけり

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
携帯電話	かけがえの無い一品
カジュアル	
フォーマル(思い出の一品相当)	
ウェポンケース	
手配師	
マルチエフェクター×4	
思い出の写真	
メモリー	
メモリー	
メモリー	
かけがえの無い一品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス:輪廻の獣P		N		
Sロイス:雪村 優斗P	好意	N 不安		
住良木 暁音	P 友情	N 不安		
ゆーな	P 親近感	N 憤懣		
らん	P 好奇心	N 猜疑心		
さくら	P 誠意	N 不安		
ゆーの	P 信頼	N 不安		

最大財産P: 32 残り財産P: 16

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:モルフェウス	3	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果: C値-Lv								
カスタマイズ	3	2	メジャー	武器	-	白兵/射撃	-	
効果: ダイス+Lv個								
クリスタライズ	3	4	メジャー	-	-	シンドローム	100↑	
効果: 攻撃力+[Lv×3] 装甲値無視 シナリオ3回								
原初の黒:時の棺	1	12	オート	視界	単体	自動	100↑ 1/5h	
効果: 判定を失敗させる								
砂塵の帳	1	7	オート	視界	単体	自動	120↑ 嫌悪	
効果: 命中判定を失敗させる シナリオ1回								
原初の灰:マリシャスブラッド	3	8	オート	視界	単体	自動	120↑ 嫌悪	
効果: オートアクション打消 120%およびエネミーは不可 シナリオLv回								
原初の紫:冥府の棺	1	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果: BS1つ解除								
原初の赤:マルチウエポン	1	4	メジャー	武器	-	白兵/射撃	-	
効果: 武器2つの攻撃力を合計 達成値-[5-Lv]								
砂の結界	1	2	オート	至近	自身	自動	1/MP	
効果: カバーリングを行う								
原初の白:マシラのごとく	3	7	メジャー	-	単体	シンドローム	80↑ 1/5h	
効果: 攻撃力+[Lv×10] ダイス-5個								
巨匠の記憶	5	2	メジャー	-	-	運/芸/知/情	-	
効果: ダイス+Lv個								
レインフォース	5	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果: 攻撃力+[Lv×2]								
極光螺旋	3	1~5	マイナー	至近	自身	自動	80↑ 1/5c	
効果: 攻撃力+[コスト×5](最大20)								

「…嫌いなものが多いけど、好きなものだってあるから」

歳が2桁にも満たない、幼いチルドレンの少女。
元々FHで実験素体とされていたのだがUGNに奪還され、そのままそこに所属するようになった。
一見モルフェウスによって適正化された銃火器による射撃攻撃だけが得意なように見えるが、その正体は“輪廻の獣”と呼ばれる非常に特異なオーヴァードである。
レネゲイドが異常活性化すると、真っ白い仮面が顔に浮かべあがり、同時に纏う雰囲気も異形のものへと変質する。
だが、ヒカリはこの姿をあまりに醜く惨めなものだと感じており、暴走中の自身の姿が誰かに見られることを極端に“嫌悪”する。
まだレネゲイドの制御にも慣れていないため、誰かとも愛なく接していてもいつ暴走し輪廻の獣を発現させてしまうか分からないという状態は彼女の幼い精神に強いストレスを与え続けていた。
……しかし今は、自分を輪廻の獣だと知っても自分を認めてくれる一人の少女の存在によって感じるストレスも和らいでいる。

彼女が輪廻の獣へと覚醒した経緯は定かでない。
ヒカリの存在を疎ましく思った両親が彼女をFHに引き渡し、そこでウロボロス計画の実験台にされた際、オーヴァードへの覚醒と同時に…というのが一説である。
だが彼女は、両親に捨てられた記憶と、全身を包帯に包んだ謎めいた男、“伝染師”モルプスの存在だけははっきりと覚えている。
特にモルプスに関しては異様な執着を見せ、彼女なりに積極的に彼についての情報を集めているが進展はほとんど無い。

輪廻の獣の発現を誘発しやすいウロボロスシンドロームの能力を少しでも制御しやすくする為、最近特殊なレネゲイド回路を体内に埋め込んだらしい。

嫌いな人を消す代わりに、好きな人は……
頼ったり撃ったり頼ったり踏んだり

